



第2回大崎市陸羽東線再構築検討会議資料

R4.12.26



1 地域懇談会の開催概要

古川地域懇談会（第1回）	
開催期日	令和4年11月14日（月） 19:00~21:00
場 所	地域交流センター2階研修室1・2
出席者	住民13名，市側（尾松副市長 ほか5名）

古川地域懇談会（第2回）	
開催期日	令和4年12月11日（日） 13:30~16:00
場 所	大崎生涯学習センター 多目的ホール
出席者	住民12名，市側（伊藤市長 ほか4名）

岩出山地域懇談会（第1回）	
開催期日	令和4年11月17日（木） 18:30~20:20
場 所	岩出山総合支所3階大会議室
出席者	住民10名，市側（伊藤市長 ほか8名）

岩出山地域懇談会（第2回）	
開催期日	令和4年12月11日（日） 13:30~15:40
場 所	池月地区公民館ホール
出席者	住民8名，市側（尾松副市長 ほか3名）

鳴子温泉地域懇談会（第1回）	
開催期日	令和4年11月16日（水） 19:00~21:00
場 所	鳴子総合支所2階研修室
出席者	住民12名，市側（吉田副市長 ほか8名）

鳴子温泉地域懇談会（第2回）	
開催期日	令和4年12月11日（日） 13:30~16:00
場 所	鳴子総合支所ホール
出席者	住民9名，市側（吉田副市長 ほか5名）

2 地域懇談会の意見等

(1) 懇談会出席者の主な意見・提案（各地域共通）

- ① 地域住民は、陸羽東線存廃の危機感を感じていないのではないか。
- ② 陸羽東線はあって当たり前で、無くなるかもしれないという事が信じられない。
- ③ 昔は、通勤・通学など多くの方が使っていたが、今はクルマ移動のほうが便利。
- ④ 沿線地域の人口が減少しているので、観光利用を増やさないといけない。
- ⑤ 魅力あるまちづくりを進めないと利用者増は見込めない。
- ⑥ 市内高校への通学者、進学者の利便性向上を図るため、ダイヤ改正の実施。
- ⑦ 各駅からの二次交通を整備する。
- ⑧ 駅のバリアフリー化、スマート化、駅周辺の防犯・安全対策を講じる。
- ⑨ 沿線の景観向上を図る。
- ⑩ 沿線住民が連携して新たな観光資源の開発やイベントを実施する。
- ⑪ 陸羽東線を利用して訪れた方に、クーポン券の発行などインセンティブとなる仕組みを作る。
- ⑫ イベント・観光列車の運行、及び貨物利用を再開してもらおう。

※ 詳細は、別紙資料を参照

3 意見・提案の集約と報告書への反映

▶利活用に関する意見や提案を集約

(職員アンケート, 再構築検討会議, 各地域懇談会, 市民提案の募集 など)

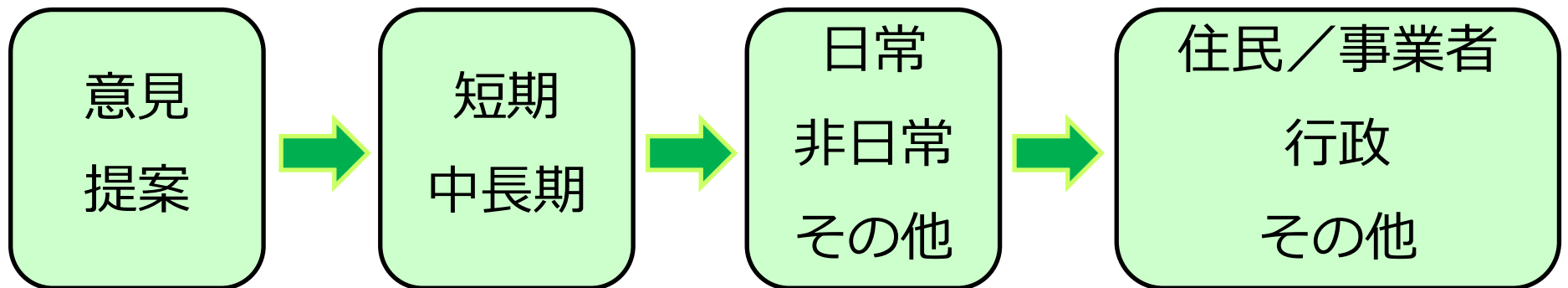
▶集約した意見等を時間軸で分類 (短期・中長期)

(すぐに実行できるもの, 実行・改善に時間を要するもの など)

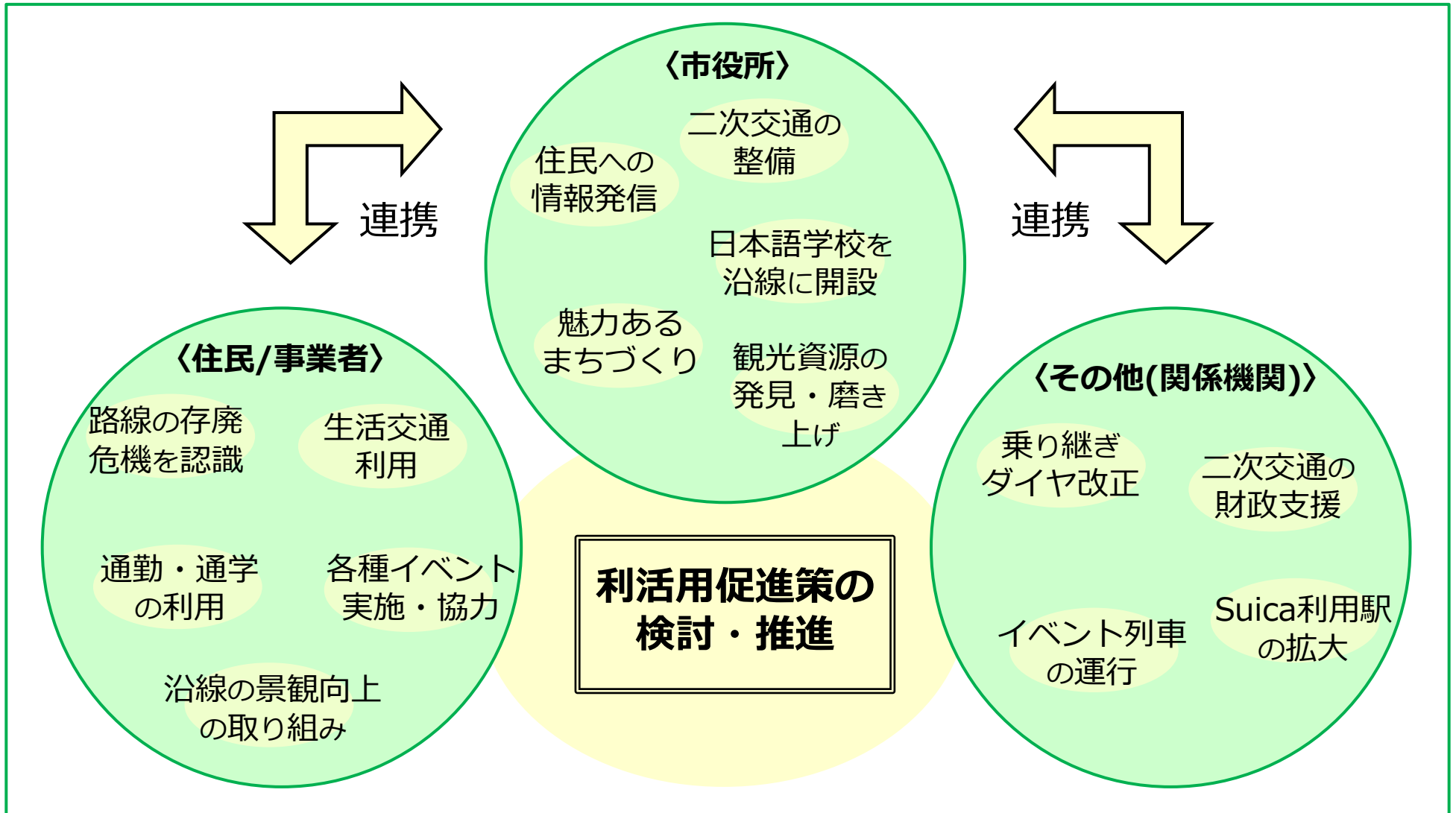
▶陸羽東線の存続に向けて, 通勤や通学, 通院等による利用者増 (日常), 観光やイベント参加等による利用者増 (非日常), さらに, 存続に向けたそれ以外の方策 (その他)

▶各方策への取り組み主体

(地域住民, 旅館やホテル等の事業者, 市役所, 国, 県, JR など)



4 懇談会意見等を踏まえた提案の取り組み主体（イメージ）



5 利活用促進に関する検討報告書の構成（案）

◆報告書の構成（目次）

1 陸羽東線の概要

- （1）陸羽東線の歴史
- （2）路線の概要

2 利活用報告書作成の背景

- （1）J R 東日本による経営情報開示
- （2）ローカル鉄道の在り方に関する提言

3 本市における陸羽東線の役割と路線を取り巻く環境の変化

- （1）役割
- （2）環境の変化
- （3）取組項目

4 陸羽東線の存続に向けた取組

- （1）取組の位置づけ
- （2）取組目標
- （3）取組期間
- （4）取組項目

5 参考資料

- （1）再構築検討会議
- （2）地域懇談会
- （3）庁内関係課会議

6 関係機関との調整状況等

(1) 県及び沿線自治体との調整状況

- ① 8/22 陸羽東西線利用推進協議会情報交換会
- ② 11/18 J R各線における沿線市町と県の意見交換会
- ③ 12/21 宮城県の呼びかけにより、宮城県、美里町、大崎市の3者で情報交換会
- ④ 12/22 やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会（最上ワーキングチーム）
- ⑤ 上記のほか、東北運輸局、宮城県、J R東北本部へ伊藤市長が訪問し、検討会の進捗状況を報告し、意見交換を実施。

(2) 陸羽東線利活用の働きかけ

- ① 吉田副市長を中心に、市内に事業所を置く企業や各種団体、さらに高校に直接出向き、陸羽東線の利活用検討状況の報告と陸羽東線の利用に関して働きかけを実施。
- ⇒ 【古川学園高校、鳴子中学校】生徒間でディスカッションし、提案書を取りまとめいただく
【東北電力】社内掲示により通勤利用の啓発
【古川高校】PTA会議等参加時の利用促進 など
- 多くの事業所や高校等のご理解により利活用促進に参画・実践していただいている状況。

7 利活用促進に関する取組み状況等

(1) 大崎市の取組み状況

- ① 大崎市職員による公共交通通勤デーの実施（令和5年1月，2月の第2水曜日）
- ② 令和5年4月の市民協働推進部まちづくり推進課内に「陸羽東線利活用推進室」を設置することで調整中。
- ③ 広報おおさき1月号において，利活用促進に関する市民提案を広く募集。
- ④ 図書館において，陸羽東線を含めたローカル線の特別展示を実施中。(R5.1月末までの展示予定)また，「陸羽東線の思い出アンケート」も実施中。(二次元コードからアクセス)



〈二次元コード〉

(2) その他

- ① 鉄道開業150年企画として，大崎タイムスに「走れ！陸羽東線」が連載中。タイトルは伊藤市長の直筆です。



〈図書館内の特別展示コーナー〉

8 今後のスケジュール

3月に公表予定の「陸羽東線利活用検討報告書」の作成に向けて、下記の検討スケジュールを進めてまいります。なお、下記の検討組織以外に、市広報の1月号で市民提言の募集を実施し、さらに、市内の高校生やその保護者からの提案もいただくことで調整しています。

	8~9月	10月	11月	12月	R5.1月	2月	3月
再構築検討会議		会議① 10/20		研修会 12/11		※報告書案 の確認	会議③
				会議② 12/26			
庁内関係課会議	会議① 8/31		会議② 11/9	研修会 12/11	会議③	会議④	
地域懇談会	各団体への趣旨説明		会議① (古)11/14 (鳴)11/16 (岩)11/17	研修会 及び 会議② 12/11		会議③	
大崎市議会	総務常任 8/25		総務常任 11/24		総務常任委員会をはじめ 各常任委員会へ説明		

※「陸羽東線利活用検討報告書」は、今後想定されるJRや国、県等との関係機関協議における本市の考え方の基本とする。また、取りまとめた各種利活用促進策について、市および住民等がすぐに取り組めるものについては、適宜、その取り組みを実行に移し、予算の伴うものや関係機関との調整が必要な取り組みには、令和5年4月以降に着手することとする。